

議員全員協議会会議録

令和 3 年 5 月 2 1 日

宮 古 市 議 会

令和3年5月宮古市議会 議員全員協議会会議録目次

(5月21日)

議事日程	1
出席議員	2
欠席議員	2
説明のための出席者	2
議会事務局出席者	2
開 会	3
説明事項(1)	3
閉 会	14

宮古市議会議員全員協議会会議録

日 時

令和3年5月21日（金曜日） 午後1時9分

場 所

市議会 議場

○

事 件

〔説明事項〕

（１）新型コロナワクチン接種の実施状況について

出席議員（22名）

1番	白	石	雅	一	君	2番	木	村		誠	君	
3番	西	村	昭	二	君	4番	畠	山		茂	君	
5番	小	島	直	也	君	6番	鳥	居		晋	君	
7番	熊	坂	伸	子	君	8番	佐々木	清	明	君		
9番	橋	本	久	夫	君	10番	伊	藤		清	君	
11番	佐々木	重	勝		君	12番	高	橋	秀	正	君	
13番	坂	本	悦	夫	君	14番	竹	花	邦	彦	君	
15番	長	門	孝	則	君	16番	落	合	久	三	君	
17番	松	本	尚	美	君	18番	加	藤	俊	郎	君	
19番	藤	原	光	昭	君	20番	田	中		尚	君	
21番	工	藤	小	百	合	君	22番	古	舘	章	秀	君

欠席議員（0名）

なし

説明のための出席者

〔説明事項〕（1）

保健福祉部長	伊藤	貢	君	健康課長	早野	貴子	君
地域保健医療係長	大向	守	君				

議会事務局出席者

事務局長	下島野	悟	次	長	前川	克寿
主	任	佐々木	健太			

開 会

午後1時9分 開会

○議長（古舘章秀君） ただいまから議員全員協議会を開会します。ただいままでの出席は22名でございます。会議は成立しております。本日の案件は説明事項1件となります。議題となります新型コロナウイルス関連については、市政に関する重要事項であり、またこれまでも議員全員協議会で扱ってきた事項でありますことから、その経緯を踏まえ所管の委員長とも協議し、この度、全協の場で説明を受けることといたしました。皆様スムーズな議事進行にご協力をよろしくお願いいたします。

○

説明事項（１） 新型コロナワクチン接種の実施状況について

○議長（古舘章秀君） それでは説明事項の1、新型コロナワクチン接種の実施状況について説明願います。伊藤保健福祉部長。

○保健福祉部長（伊藤貢君） はい。新型コロナウイルスワクチン接種の実施状況についてご説明いたします。当市では新型コロナウイルスワクチン接種を4月19日から市民交流センターでの集団接種及び田老、新里及び川井国保診療所の診療所での個別接種を行ってきたところでございます。6月末までの国からのワクチンの供給の目途が立ったことから、個別接種実施医療機関を拡大し、接種を希望する全ての方が安心して接種できる体制を整えて参りたいというふうに考えてございます。ただいまから宮古市の新型コロナウイルスワクチン接種の実施状況についてご説明して参りたいと思います。詳しくは早野健康課長から説明させます。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） はい。私のほうから新型コロナワクチン接種の実施状況について説明させていただきます。座って説明させていただきます。では資料の1ページをご覧ください。1、接種対象者数についてでございます。国は重症化リスクの大きさ等を踏まえて、大まかな接種順位を示してございます。本市におきましても国の優先順位をもとに接種の優先順位を決めてございます。接種対象者数につきましては、国が示しております推計割合でもって算出をしてございます。医療従事者が1,500人になります。これは県の主導のもとにまだ完了はしておりませんけれども、接種が進められている状況でございます。2が高齢者になります。これはおおよそ1万9,200人ということです。次が高齢者施設等の従事者、基礎疾患を有する方、上記以外の方ということになりまして、16歳未満の方の人数を引いた形でもって接種者数は概数として出してございます。2番目、接種実績でございます。先ほど部長のほうからお話がありましたとおり、4月19日から接種を開始してございます。ここには先週末5月15日までの接種実績を上げさせていただいております。4月19日から5月15日まで、この間15日間でございますけれども接種を行ってございます。実績としては2,445回ということで、これは2回目接種を完了した方が下のほうに示してございますけれども、このうち466人が2回目の接種を終えてございます。従事スタッフ数についてでございますが、これは国保診療所を合わせて医師は66人ご協力いただいております。看護師等は224人、事務従事者については186人、合計476人が従事している形になります。2ページ目をお開きください。ワクチンの配分についてでございます。これは高齢者分ということで、配分を要求して決定を受けているもの、また見込みが見込まれているものの数でございます。まずは最初4月17日に1箱、これは487人分のワクチンが届きました。4月30日には3箱、1,463人分のワクチンが届いてございます。現在、配分されている部分は1,950人分ですけれども、これは1人2回分という算定でワクチン量算出してございますので、

3,900回分のワクチンが現在宮古市に届いてそれを接種に使っているということでございます。6月末までにこれから30箱ですね。1万7,550人分の配分見込みが示されてございます。合わせて1万9,500人分ということになります。そうしますと宮古市の高齢者の人口を上回る数の配分量は決定しているということになります。進捗見込みでございます。想定どおり接種を進めた場合の進捗見込みが下の表のようになります。5月末現在では2回目接種の累計が1,123人となりまして、高齢者を分母にした接種割合は5.9%になる見込みです。7月末には2回目接種者の累計が1万9,369人に達しますので、65歳以上の高齢者の全ての方が接種を完了する見込みという推計になってございます。5番目として接種予約の状況を挙げさせていただきました。予約方法はインターネットでの予約と予約センターでの電話での予約になります。このうち1回目は4月12日に予約をとりましたが、これは翌日午前中で全て予約が埋まった形になります。1,405枠を想定しまして電話でつながった方が220人ということになります。この後、市民の方々からなかなか電話をかけても予約が取れないというお叱りを受けてございます。それで改善をしてきた経過がございます。2回目が5月7日を予約開始日として、これはその日のうちに予約が全て埋まった形になります。この際、電話予約は420人という形で増えてございます。今、昨日から3回目の75歳以上の方々の予約を取っている状況でございます。この枠4回目と合わせますと7,300人分の予約を今取っている状況でございます。現在でもまだ予約枠は残っている状況でまだ予約を受け付けている状況です。先ほどお話ししましたように2回目の予約の開始からは、まず予約センターの電話対応スタッフを6人から10人に増員してございます。また電話受付のマニュアルの変更といいいますのは、これまでマニュアルにいろいろ聞かなければならない確認事項をマニュアルとして示しておりましたけれども、余り多くのことを確認しますとどうしてもお1人当たりの電話が長くなるために、それでなかなかつながらないということが分かりまして、そこでマニュアルを変更して行っております。また市のホームページのほうには予約サイトの使用方法を掲示するなどして皆様が少しでも予約をとりやすい状況ということで改善を進めてきたところでございます。私のほうからの説明は以上になります。

○議長（古舘章秀君） 説明が終わりました。この件について何か質問あれば挙手願います。白石雅一君。

○1番（白石雅一君） 2点ほどお伺いさせていただきます。一般質問をしようと思ったんですけど、今回説明があるということで、今回は一般質問から外させていただいたんですけども、接種対象者の優先順位について、今回示されている内容とはほかに教員の方や保育士といった大勢の方と接する機会が多い職種の方に対しても接種対象者として優先順位を持つべきじゃないかというふうに考えておったんですけども、それについてはどのようにお考えでしょうか。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 確かに教員またはその保育所の保育士さん等、発生しますとクラスターにつながりやすいというところはそのとおりだと考えてございます。ただあとは優先順位が重症化のリスクであったり、死亡率を加味した形で医学的根拠に基づいて、つくられている優先順位でございます。我々といたしましても、今後のワクチンの配分量がもう少し示されてきましたらば、先ほど言った教員、保育所の職員等々につきましても優先順位を上げて、実施していく方向を検討していきたいと考えてございます。ただ、今後につきましてはまずは個別接種が開始されますので、その個別接種でどうしてもキャンセルというのが今後多く発生することが想定されます。そういう中で地域に点在している学校保育所の職員をそのキャンセルの枠に入れていくことができるかどうか、まずはそういう対応を検討しているところでございます。

○議長（古舘章秀君） 白石雅一君。

○1 番（白石雅一君） 了解いたしました。個別接種が始まるというところは市のホームページでも掲載して接種可能な病院を掲載しておるようですし、今後、キャンセルという部分が懸念されるというのは確かだと思いますので、ぜひそこをしっかりと円滑に連携をとりながらやっていただきたいなと思います。もう1点、今までのワクチン接種で廃棄分というのは出てないんでしょうか。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 宮古市では幸いのところ廃棄分は出ておりません。今までに昨日までに突然のキャンセルが2件入りました。そこに関しましてはまだ終えていない医療従事者がおりますのでそこに充てさせていただきます。

○議長（古舘章秀君） 畠山茂君。

○4 番（畠山茂君） よろしくお願ひいたします。私からは簡潔に5点お聞きしたいと思います。まず1点目は資料で言うと、3番目のワクチン配分というところで、簡単に言うとワクチン接種のスケジュール感なんですけども、ご案内のとおり国は7月末で65歳以上を完了して、9月末では全員、全国民だというお話してました。今回説明ではこの表の部分が出ております。我々が目にするのは新聞報道でしか情報提供がありませんでしたので、そういった部分を、もし分かる部分があれば早めにというふうに思ったんですが、まずお聞きしたいのは、取りあえずこれを見ると、ワクチン配分の高齢者分ってあるんですが、今宮古市として把握できる、必ず確保できるよという部分はまずこの部分でということなのかまずそこを確認したいと思います。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） ワクチン配分のまずは流れについてお話しさせてください。ワクチン配分については市がまずシステムを通じて県に要望してそこを国が吸い上げ、そして国が各県に対する配分量を決めてきます。それで岩手県がその配分量の決定を受けて各市町村に配分を決定しているのが状況でございます。当初、前に説明させていただいたときは4月1日から接種をしたいということでお伝えしたかと思いますが、やはりそこは配分を受けることが出来ずに4月19日からの開始となってございます。4月中はこの30日しか配分を受けることが出来ておりませんので、ワクチン接種につきましても、19日から連続して行うということが出来ませんで、1週間の間を空けたりという形で、その配分されたものをうまく使えるように設定してきたつもりです。今後につきましては高齢者の人口をもとにある程度目安を持って県のほうから市町村ごとの配分数が示されてございます。それをもとにこの6月末までという形のものは、今ここでお示した形になります。

○議長（古舘章秀君） 畠山茂君。

○4 番（畠山茂君） 取りあえず今宮古市として、ある程度確保できるのはこの分だというふうに理解をしました。それとは反対に高齢者65歳以下の人たちの分はまだこれからの予定だというふうに理解します。二つ目が1ページの接種対象者、優先順位の、先ほど白石議員もお話がありました。この部分で言うと、県内の状況を私は地デジのニュースで見たんですけども、優先順位って、岩手県内の全部市町村で違うんだなというのを、この間たまたま見て理解をしまして、市町村によっては施設入居者からやっているところもあったり、90歳以上とか85歳、75歳から始めているところもあれば、遠野市みたいにもうオープンで何も条件なしにも受け付けてやっているところもあるんだなあとということで、宮古市は裏を返せば、各自治体でこの優先順位は決められるんだなというふうに思っていました。宮古市はこの順番でやるということなんですが、まず1点危惧するところは、先ほど来も白石議員も言っていますが、この優先順位というのは、やっぱり臨機応変に私は対応するべきだと思ってまして、この順は、あくまでも基本という考え方でまずいいのか。いやこれはもう絶対変えら

れないという頭で今市は対応しようとしているのか、まずそこをお聞きしたいと思います。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 確かに市町村ごとにある程度裁量権を持って優先順位が決められるものと私どもも思っていました。ただところがワクチンの供給量として示されるものは、あくまでも今回の場合、高齢者の人口でもって配分されているという現実がございます。そういうところもありまして、そのワクチンの優先順位を市町村が決めることが出来て、それに合わせて国のほうも配分量を決めていただきたいという旨を今要望しているところでございます。

○議長（古舘章秀君） 畠山茂君

○4番（畠山茂君） 気がついたことを聞いていきます。ここに関連してというと、3番目、4番目に行ったときに高齢者施設従事者とか基礎疾患がある方、この間、前回の説明だと自己申告だというような説明があったと思います。これから、DMを出して、どんどん市民の皆さんに周知をしていくと思うんですけど、私は単純に疑問に思うのは、これをどのように今現場の判断で、その受け付けをしていくのかなという素朴な疑問がありまして、ここら辺の対応とはもう考えているのかどうか。これからなのか、そこだけお聞きしたいと思います。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 基礎疾患を有する方についてでございますが、ある程度基礎疾患があるということは主治医がいるという形を考えてございます。そうすると個別接種のかかりつけ医での接種という形で進めていけるものも結構な数あるだろうとは思っておりますけれども、ただそこについてはその年齢を、5歳の範囲のところで言われてはいますけれども、そこをどのように見込んでいくか、今後医師会の先生方と検討していかねばならない事項だと考えてございました。

○議長（古舘章秀君） 畠山茂君。

○4番（畠山茂君） これからの協議事項であって、できれば個別接種でいきたいというような考え方ですね。ここはいいです。これからということで。大きな三つ目が広報の在り方を私はちょっと疑問に思っていて、最初が75歳、今度は65歳からの部分を周知する。25日から受け付けを開始するというのを5月15日の広報で見たんですけど、私はこの間説明を求めたのは、教育民生常任委員会の前、5月12日にたまたま親がケガをして病院に行ったときに、その個別の個人病院でもう6月分の接種を受け付けていて、この間の広報の部分では外れたんですけど、たまたま病院に行ったらもう受け付けが始まっていて6月の何日に受けることを決めてきたよってという話をそのようにされて。こういうことが始まっていくと市民の人たちは本当に混乱するんだろうなと。片方では5月25日からやるとか言いながら、現場に行くともう受け付けが始まっていたりすると、そういうのが市民の皆さんに広まっていくと、ある自治体みたいに市役所に苦情とかいろんな問題で来る方があるんじゃないかと思って。やっぱりこの広報の在り方はきちっと透明性を持ってある程度先を見越して、当局のほうでも制度設計作って、計画を作っていると思うので、そこはきちっとやってもらいたいなと思ったんですが、そういった点は把握なさっておりましたでしょうか。そういう実態というか、実情ですね。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 個別接種につきましては、皆さんに門戸を広げているところもありますし、かかりつけの患者さんのみという形で制限している医院もございます。そういう点では予約をとったという話ではなく、いつぐらいに受けましょうという調整をされているというお話は聞きましたけれども、今議員さんおし

やったように何月何日何時の予約ということは今初めて伺いました。申し訳ございません。

○議長（古舘章秀君） 畠山茂君。

○4番（畠山茂君） 何か世の中はそういうふうになんかもう流れておられるように聞いていますので、そこら辺のさっき言った広報の在り方はきちっとやっぱり公平性を持ってやってもらいたいと思います。確かにホームページ見ると5月25日から受け付けるとかっていうのは見られるんですけど、ホームページを見られない人達は多分わからない方々もいっぱいいると思うので、そこら辺は工夫をしていただきたいと思います。大きな四つ目が、先ほど来キャンセルのあり方、ニュースでいうと首長が最初に接種したりとか、あと廃棄の問題もあるんですが、こういったキャンセルのルール化っていうのは宮古市で決めるべきだと私は思うんですけど、その点はどのように今対応しているのかお聞きしたいと思います。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 先ほど言いましたようにキャンセルにつきましては、この集団接種会場においては、当初終わる予定だった医療従事者がまだ終えられておりません。というのは市の職員の中でも、例えばPCR検査に従事する職員若しくはその検査センターへの移送に関わる職員等がまだ1度も接種が出来ていない状況でございます。それで医師会の先生方ともお話をして、あとは県のほうともお話をして、集団接種会場でその職員のキャンセル分に入れていく形で今進めているところです。ここに関しては一般の方のキャンセル待ちみたいな分を設けるのではなく、そういう形で確実にもうその場で、その当日のその時間になって分かるキャンセルというのも今までの2件がそのような形でございましたので、そこにいる医療従事者にキャンセル分で接種をするという形にしております。あとは今後個別接種の中では先ほど言いましたように、保育所、学校という集団に携わる先生方について、その地域近いところで割り振りをした上で順位を決めて入っていくように出来ていけばいいかなというふうに今検討しているところです。

○議長（古舘章秀君） 畠山茂君。

○4番（畠山茂君） ぜひルール化していただいて、苦情がないようにしていただきたいと思います。あと最後のところなんですけど、今やっている集団接種の部分です。聞きたいのは今やっている場所、あるいは今交通手段の補助やっていたり、受付見ると結構人が待っていたりするんですけど、そういった面での改善点とか苦情とかなないのか。今の状況をお聞きしたいと思います。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 部長とともに毎日集団接種会場には顔を出して状況を把握するということをやってございますけれども、現時点では苦情という形のものは今認識しておりません。ただ先生方が来てから先生方少し早めにいらしてその後にワクチンを、ワクチンの取扱いが少し面倒でしてワクチンの準備に時間がかかるんですけども、その間に始まりはまだなのかとか、そういう声は聞くことはございます。それに関しては状況をお話してお待ちいただくように説明させていただいているところです。あとは現時点では7月末まではこの交流センターでやっていきたいと考えてございます。今後1回あたりの人数が今より少し増やしていく状況でございますので、そういうところに関しましては、コロナ禍で行う予防接種ですので環境密にならないような形でうまくレイアウト、または配置を工夫しながらやって参りたいと考えてございます。

○議長（古舘章秀君） 畠山茂君。

○4番（畠山茂君） ぜひ分かる部分で情報開示どんどんしていただければと思います。終わります。

○議長（古舘章秀君） 落合久三君。

○16番（落合久三君） 1ページのもう一度1、接種対象者のところを今後どこまで接種が進んでいるかっていう場合の分母になるのがこの数字だと思うので、改めて確認の意味で聞きます。1、医療従事者、これは全て総人口の云々というのはここは3%、これは市で押さえることができるんじゃないですか。それは無理なんですか。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 医療従事者に関しましては、市を介さずに県が全て情報を集めて、そして接種する基本型の医療機関を決めて、そこに名簿をお渡しするという形になってございまして、私ども直接そこに関わってございませんので、市の例えば救急隊員であるとか市の診療所の職員を我々は名簿を提出する側という形になってございますので、皆さんが1回目接種は済んでいることは把握してございます。2回目接種もほぼ終わるところであるというのも聞いてございます。ただ、ちょっとそれ以上の情報を持ち合わせておりません。申し訳ございません。

○議長（古舘章秀君） 落合久三君。

○16番（落合久三君） この2の1ページの2の接種実績の（2）に、従事スタッフ数っていうのはここに書いてあって、医療従事者、医師、看護師など検査技師だとかレントゲンだとか、その他リハビリする人だとかいろんな業種があると思うんですが、それとは別にこの事務従事者、医師、看護師などと事務従事者、これの推計累計の推計が1,500人というふうになってんのかどうか、だと思うんですが。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 申し訳ございません。説明の仕方が私がうまく出来なかったんだと思います。2の（2）に上げてあります従事者数につきましては、現在の4月19日から5月19日までの接種に関わったスタッフということで、接種を受けるスタッフというか、対象者とは別物でございまして。ここに上がっている医師と看護師等は集団接種に関わる医師会の先生方、そこに勤めるお手伝いに来ている看護師さんとか事務の方含めてですけれども、そのほか国保診療所の医師と看護師の数がここに書いてある医療従事者になります。

○議長（古舘章秀君） 落合久三君。

○16番（落合久三君） 私はそう思って聞いたんですが、ここのくくりはあくまでも接種実績が書いてあって…あ、そうなの。打った人じゃなくて。要するに冒頭触れたように一体全体宮古市は医療従事者何%までってんのや、高齢者はどこまでってんの、っていうのは常に到達を押さえながらっていう必要が出てくるので、その前提になると思って聞いているんですが、そうしますと先ほど課長の今の説明でちらっと医療従事者は少なくとも1回目の接種はほぼ終わったと理解していると、そう言ったでしょ。ということは約1,500人ぐらいは1回目の接種が、厳密でなくてもそういうふうにも聞こえたんで聞いたんですがそういう理解でいいんですか。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 人口に対して国の約3%が医療従事者の数であろうということで推計をしております、その数が宮古市の場合、計算をして1,500人ということになってございます。実際に医療従事者どこまで進んでいるのかは具体的な数は把握出来てございませんけれども、市の医療従事者除いてではございますけれども、ほぼ1回目は終了しているというのが聞こえてございます。2回目も終わっているところが多いんですけども、例えば市内の大きい病院でありますと、基本型の病院からワクチンをもらって自院で接種しているところがございます。そこに関しては2回目まだ接種の時点ではまだ終えていなかったというのが現実でございます。ただ割合的なものは持ち合わせてございません。

○議長（古舘章秀君） 落合久三君。

○16番（落合久三君） わかりました。接種対象者の3番のところですが、高齢者施設等の従事者、総人口の1.5%直すと800人ぐらいだろうと。これはあくまでも国県の目安と理解するんですが、ここに書いてあるその高齢者施設等の従事者、先日も会派で田中市議会議員と一緒に申入れを結構な分量のやつをやった中の一つに高齢者施設で働いている人及びそこに入所している人は同時進行で接種を急ぐべきだっていう申出をしておりました。そこで聞くんですが、この高齢者施設等の従事者っていうのは、介護の施設でいえば、宮古市内の34事業所施設があると理解しているんですが、ここの800人というのはこの介護施設の従事者を中心にそこで働いている人というふうに受け止めるんですが、そういう理解でいい数字なんでしょうか。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 入居入所型の施設に関わっている職員という形になりますので、落合議員のおっしゃるとおりでいいかと思います。

○議長（古舘章秀君） 落合久三君。

○16番（落合久三君） あと最後ですが、先ほど畠山委員も言ったんですが、昨日私たまたま月1回磯鶏の金沢医院に薬をもらう日だったんで行ったら、磯鶏の町内の人がおっぱさんたちが3、4人夕方の4時頃でしたが、金沢医院の受付のところにこういうボードを挟んで、けんかをしているんじゃないで、大声でやってたのは郵便が宮古市から送られてきたと。そうしたらば金沢医院でも接種できるそうだっていうのだけが目に入ったんだね。それで行けばもう予約できると思って3人が行ってね。えらい混乱してだったんですよ。そこでちゃんと読めば分かるんですが、さっき畠山さんが言ったような例を含めて、やっぱりこの周知の徹底っていうのをちゃんとしないとあそこの病院ではもうやったとかって、何でおらほの金沢医院はやってくれないとかっていろんなことになる、混乱したり、あと不公平感が生じたりっていうのはこれから十二分に考えられるので、何かそこら辺で何かよく読めば分かるんですが、よく読まないんだよね。そして予診表も書くっていつもあれ結構ね、私も書きましたがちょっとかかるんですよ。そこら辺で何らかの工夫が必要でないのかと、例えば各町内にはほとんど一定規模のところには保健推進員がいるでしょうが。そういう業務にお手伝いで、それはあくまでもお手伝いですよ。その人たちの仕事だとは思わないんだけど、お手伝いという意味で、何かそういうのがやっぱり必要でないかなというふうに思っているんですが、この周知に関してもう一度現時点で考えていること。

○16番（落合久三君） 伊藤保健福祉部長。

○保健福祉部長（伊藤貢君） ありがとうございます。確かにそのようなことがあってはならないと思うんですけど、なかなか最後まで読んでいかないと分からない部分があるのでそういうふうになっているのかなと思っていました。6月1日号の全戸配布に今回同じように個別接種が始まりますよというふうな案内を入れさせていただくんですけれども、そのほかに今議員おっしゃっていましたように地域に保健推進員の方々がいらっしゃいます。その方々に予約についての声掛けとか、あるいは相談先の案内などについてもお願いすることによって、広く周知できればいいなというふうに今どういうふうにとやったらいいかというのを、構築を練っているところでございます。その他にやはりホームページとか、やはり広報になると思うんですけど、そういうふうなのを使いながら、周知の徹底を図っていかなくちゃならないと思ってございます。

○議長（古舘章秀君） 松本尚美君。

○17番（松本尚美君） 議長。何点かですが、まず最初に今保健推進員さんの協力といいますか、そういった

対応を検討しているっていう話なんです、これはマスコミ見るとやっぱり高齢者が優先順位が高いということで、なかなか今言った予約に絡んで大変苦勞している方が多いと。しかも電話対応とネットといいますか、そういった部分で差が出てきていると。というのがマスコミ報道になっていますね。そういう中に町内会、自治会がそれにサポートすると、というような地区もあってそういったところは非常に予約が進んでいると。高齢の方々も助かっている、というのがマスコミ報道でしか実感はないんですけども、マスコミ報道でされていますよね。だから、そういう現状をどのように捉えて今後どう対応していくか、ということです、そこはトータル的に今保健推進員さんの話も出ましたけれども、全体的にどうしていくのか。ということが検討されるべきなのかな。また任意でやってくれる地域、自治会、町内会はそれでいいのかもしれませんが、そこでまた差が出てしまうと、うちの町内会何やっているんだっていう雰囲気の話にもなっちゃうんで、そこはどのように今後取り組むっていうのかな、考えているのか、まずそこをお聞かせください。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 私どももまずは高齢者を最初に今回やりましたので、今回そのネットまたは電話といってもなかなか予約がとりづらい。あとはどなたも支援する方がいないと最後まで行き着かないというのもありまして、地域によっては確かに今議員おっしゃったように、地域の方がお手伝いをしながらやってくださっているという話も聞こえてまいりました。そこで我々としても先ほど部長がお話ししましたとおり、私たちがすぐに浮かんできたのが、一緒に保健活動やっていたら保健推進員というのがまず最初に浮かんで、その方たちに少し声かけ等のお手伝いをさせていただければいいかなと今策を練っているところでございます。確かに自治会という組織についても今後あわせて検討できればいいかなと思っておりますし、まずは75歳以上の方々がどの程度取りたくても予約まで行き着かないのかというあたりもきちんと把握しなければならないと思っております。それと併せて自治会のお願いといいますか、その役割といいますか、そこらをどこのあたりを担っていただくかというあたりも今後検討してまいりたいと思っております。

○議長（古舘章秀君） 松本尚美君。

○17番（松本尚美君） 分かりました。そこは地域差が出て、感情的な部分がどうしても出てしまう可能性もありますから十分配慮いただきながらと思います。また75歳って課長が言いましたけれども、基本的には高齢者の最優先で宮古市の場合は75っていう区切りで65以上が基本でしょうけれども、やはり優先順位を75で区切っていますよね。だから、市民はその対象者が何人いて今回何人受けられるのか。予約がとれるのか分からないんですよね。分からないために1時間も2時間も電話している。それでもつながらない。まあ諦める。そうでない方々の中に予約がスムーズにとれるのは、ネットで若い人がある家庭はスムーズにつながる。とりやすい。そういった混乱もマスコミだけではなくて今現状宮古でも発生していると私は思いますね。だから、もっと工夫してやっぱり今回何日まで受け付けるのは何人分ですよ。だとすれば想定人数に見合う年齢区分をもう少し、何ていいますか、75以上ではなく、73とかやっぱりやっていく必要があるんじゃないかな。要するに競争率じゃないですけども、率ですよ。分母と分子の関係。そこをもう少しにらみながらやっていけば、そんなに逆に理解してもらえれば混乱しない。ストレスもたまらない。そういうことになるんじゃないか。無駄にもう1時間、2時間もかけてやって我慢強くやってつながったという人もいますね。だからそういったのがね。マスコミではプラスアルファで会場まで行っちゃうっていう人もいますよね。だからそこを混乱を避けるためには、刻むのであれば供給量と分母の対象者、これをもう少し区切って細かくやってもいいんじゃないかな。そのほうがいいんじゃないかなと思うんですがその検討されているんですか。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） まずその高齢者を二つに区切って今回75歳のところで線を引いて通知を発送し、予約の取り方も分けたわけですが、その際もっと細かくていうのも検討はしました。ただそのちょっと数的に物すごく開きが出てくるのが確かにあったものですから、今回75歳というところに線を引かせていただきましたけれども、結果論として皆様を混乱させたという現状がございますので、もう少し細かく設定してもよかったかなというのは今になってそのように反省はしてございます。ただ今回65歳以上ということで通知を差し上げましたけれども議員の皆様にも今お話ししているとおり、ワクチンの配分は確実に行われる見通しがつきましたので、このことも広く市民の皆様にもお伝えをしながら、慌てなくても確実に受けることができるということをメッセージとして今後も私達伝えていかなければならないのではないかと考えております。

○議長（古舘章秀君） 松本尚美君。

○17番（松本尚美君） 混乱が起きることを想定してない今回のワクチンの接種っていうのが前提だったかもしれないけれども、具体的にはこういった事例が出てきているわけですし、それにどう対応するか。だから例えば他の自治体ではネット予約を逆に減らすとかですね。割合を最初は同時に電話もネットも同じ扱いだけでも、ネットの割合を減らすとかそういった工夫もしているわけですね。より混乱を少なくするというのもやっていますよね。その点はどうなんですか。やっているという話になるんでしょうけども。

○議長（古舘章秀君） 伊藤保健福祉部長。

○保健福祉部長（伊藤貢君） お答えいたします。確かに1回目を受け付けたときはそういうふうにネットと電話を分けるのは全くしてございませんでした。そうしたところをやはり先ほど最初の説明で早野課長が申し上げましたとおり、1人当たりにかかる時間が非常に長かったというのがあって、ネットのほうが取られる方が多くなったというのも踏まえて、電話でとれる枠っていうのかな、そういうのをネットと電話の枠を分けたっていう経緯はございます。

○議長（古舘章秀君） 松本尚美君。

○17番（松本尚美君） 割合はどのように変えましたか。設定しました。ここに改善点の部分で電話の受け付けを増やしただけしか書いてないんで、そこをされたんであればそこを教えてください。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 交流センター受付分だけではございますけれども、国保診療所の分まで分けるということではなくて、交流センターの予約人数はとても多かったものですから、交流センターの予約分をネットのほうが7割、そして電話のほうが3割という形の近いところで設定をさせていただきました。

○議長（古舘章秀君） 松本尚美君。

○17番（松本尚美君） それで十分かどうかちょっとわかりませんが、いずれ割合をどうするかっていうのがやっぱり一つのポイントかなというふうに思われますから、引き続きこれ適時対応していかないと。後で反省、反省って言ってもね。いけないのではないかなというふうに思います。それから75歳で区切って75歳以上の対象者の分母でその結果が今日どっかに示されているのかどうか。これ聞かないと。聞けば出るのかどうか。1回目何人終わって2回目はまだとか、全体で対象者の接種率ですね。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 昨日まででございますけれども、75歳以上は25.7%終了しているという形になります。

○議長（古舘章秀君） 松本尚美君。

○17番（松本尚美君） 1回終わった方が25.7%ですか。それとも1回接種が何%で2回目が何%と区別がありますか。区分がございますか。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 申し訳ございませんでした。今お話ししたのは1回接種が終わった方でございます。まだ2回目接種は4月の10日の週といたしますか、1週間しかまだ出来ておりませんで、間隔が開けたことで来週からまた2回目接種が増えてくる形になります。2回目接種が終わった方は今5%程度になります。

○議長（古舘章秀君） 松本尚美君。

○17番（松本尚美君） そうしますとまず75歳以上を区切って優先第1に、医療従事者別にしても実施してこの25.7%っていう接種率、1回目ですね。これはどのように評価していますか。多いと思っているのか少ないと思っているのか。

○議長（古舘章秀君） 伊藤保健福祉部長。

○保健福祉部長（伊藤貢君） どうしても配分されたワクチンの数だけで、その分は接種してございますので、そういう部分ではもらったワクチンは全て接種しているということで考えていました。

○議長（古舘章秀君） 松本尚美君。

○17番（松本尚美君） そうは言いながらも、5月25日から65歳以上予約を受け付けるわけですよね。そうすると75歳以上と当然ダブってきますよね。同時に予約がダブってきますよね。そうするとさっきのに戻って申し訳ないですけど、やっぱり高齢になるほど予約が取りづらいという状況が発生し、そこはますます混乱する可能性が私はあるんじゃないかな。また75歳以上の方々の接種率が伸びるか伸びないか。そういった課題も出てくるのではないかと、思うんですね。もう一つは申し訳ないですけども、希望しないっていう方ですね。そこはどう把握するかということになってしまいますね。どっかの時点で。いつの時期かというのはありますけども。だからそういった方々、100%当然目指すっていうのはそのとおりかもしれませんが、希望しない方の割合というのがあると、さっきのキャンセル以上にですね。せっかく来ても仮にワクチンの配分があってもそれを接種出来ないっていう状況が生まれる可能性も否定出来ないですね。そこをどうクリアしていくかっていう話ね。だから行政とすれば、このワクチン接種率をどう高くすれば当然その感染リスクは少なくなるんでしょけども、やっぱり希望しないという方が割合が高くなるというこのリスク、そういった方々のリスクですね。そういったことをどう捉えていくか。アメリカはむしろ奨励に入っている。受け身じゃなくても積極的に接種している状況に入っているわけですね。だから、宮古も恐らく近々にそういったことが出てくる可能性もあるんじゃないかなというふうに思います。だから接種率をどう伸ばしていくかっていうことはどう考えているのかということですね。混乱なくスムーズに。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 75歳以上の方々の接種率でございますけれども、現時点では、ワクチンきた分を全て75歳以上の方々に打っている状況でございます。これに関しては、どこと比較とかというのは難しいと思っておりますけれども、1回目というか先日全国の高齢者の接種状況2.5%という数字が出ております。そういう中では、宮古市の分も同じような形で捉えてはございます。今後でございますけれども、今後は先ほども申し上げましたとおり次の対象者に移っていくに当たって、今回ワクチンの供給が先ほどお示しましたとおり、かなり多くの供給が見通せることになりまして、今週土曜日に新たにワクチンを受け入れることが確定いたしま

したので、それで今回ワクチンの供給量を増えたことによって75歳以上の予約を少し長めに設定をして、ネットでも電話でもご案内してそちらのほうに誘導しながら75歳以上の方から少しずつ枠を埋めていけるように配慮しているつもりでございます。75歳以上の受けない方というのに関しては、先ほどお話ししたようにどこかの時点できちんと把握した上で、それで、受けたくても受入れない人がどのぐらいいるのか、あとは全く希望していない方がどのぐらいいるのか、というのを把握した上で65歳以上また次の基礎疾患がある方等への接種の計画に反映していきたいと考えてございます。

○議長（古舘章秀君） 松本尚美君。

○17番（松本尚美君） わかりました。最後1点。今回集団接種ですか。1ヶ所診療所かな。これからかかりつけというのが出てくると思いますが、足の確保っていう、また足の部分でこの運賃の助成をしていますね。現状では運賃助成がどういう使い方というか使われる、利用されている方はいらっしゃるでしょうか。運賃といつかね、交通費。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） まず4月の分は1週間の実施でございました。そこで利用はされてございますが、申し訳ございません、数字的なのはまだまとめることが出来てございません。5月も来た方々については、ご利用の有無を確認した上で新たな接種券も交付してございます。

○議長（古舘章秀君） 松本尚美君。

○17番（松本尚美君） 交通費、運賃の助成が効果があるかどうか、という部分ですね。場合によっては、今の補助よりもプラスアルファで何かあればより接種が、会場に行きやすいとか、そういった部分を検証早くすべきだというふうに思いますね。だから会場がここだけでいいかどうかというのはちょっと分かりませんが、そういった検証を早く実態の把握をすべきだと思うんですどうでしょう。

○議長（古舘章秀君） 伊藤保健福祉部長。

○保健福祉部長（伊藤貢君） まず会場の部分、集団接種につきましてはやはり医師会の先生方には現在3人の先生とそれから9人の看護師さんに来ていただいて接種していただいております。これ以上会場を増やすというのは非常に医師会の先生方へのご負担を大きくするというので、やはり会場的にここ1ヶ所なのかなというふうに思っております。それと同時にやはり個別接種の部分は広げていかなきゃならないんだろうなというふうに考えています。それから、交通費の部分につきましては、今後県のほうでタクシーの利用なども認めているようですのでそこの部分も踏まえながら、検討していきたいと考えてございます。

○議長（古舘章秀君） 加藤俊郎君。

○18番（加藤俊郎君） 確認したいんですが、先日、私のところにも案内が来ました。それで75歳以上とか、65歳以上ね、高齢者の方ということなんですが、これは実年齢ではなくて年度に達した方に対しての65歳とか75歳っていうふうなカウントの仕方ですね。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 年度末年齢といいますか、4月1日までなんですけれどもそこに線を引いて年度末年齢という形になっております。

○議長（古舘章秀君） 加藤俊郎君。

○18番（加藤俊郎君） わかりました。それからひとり暮らしの高齢者を中心にして、ネットでの予約もできないんだっていう話とか、それから電話も掛けられないとか何とかっていう方が1人ならず結構いるのではな

いのかなと思っているんです。それで接種しない方を、案内したんだけど何%が申込みがないよっていうようなカウントの%でやるのではなくて、先ほど早野課長、すごいいいことを言ったと思っているんですが、きちんと実数で把握するっていうことを特に川井地区とか新里地区とか田老地区みたいなのはそれほどの高齢者がいることはいるんだけど、分かると思うんですよね。そういう方をしっかり把握した上で、まだ申込みになっていないようなんだけどどうしますかとか、できれば、受けたほうがいいと思うんだけどもっていうような形で進めていただきたいと思っていますが、それについて先ほど保健推進委員さんとか自治会の方をお願いしたいというような話なんですけども、それをしっかりよく言われている1人の落ちこぼれも出さないような形でやり方をぜひお願いしたいところなんですけれどもどうでしょうか。

○議長（古舘章秀君） 早野健康課長。

○健康課長（早野貴子君） 先ほど言ったように意向調査といいますか、その有無をはっきりと、やりたいのかやりたくないのか、やりたくても予約がとれないのかというあたりをしっかりと把握した上で、あとはそういう方々にはやはりやりたくても予約がとれないという方には今のこの予約の時期を過ぎて予約がとれないとなると、やはり何らかの支援が必要な人と思われるので、それに関しては各保健センターまた介護保険課を通じて包括支援センターとに協力を求めながら、できる限りその方々がどうしたいのかというところを聞いてアプローチしたいと考えてございます。

○議長（古舘章秀君） 加藤俊郎君。

○18番（加藤俊郎君） それから、今挙げた3地区なんですけど、3地区ともラッキーなことに直診施設がありますので、結構高齢者の方は月1ぐらいは行っていると思うんですけども、そこを通じて接種を進めるっていうことをぜひそれも含めてお願いしたいと思います。以上です。

○議長（古舘章秀君） そのほかありませんか。ないようですので、本件はこれで終わります。説明員は退室してください。お疲れさまでした。予定しておりました説明を全て終了いたしました。その他に移ります。皆さんから何かありますか。ないようですので、本日はこれをもって議員全員協議会を閉会します。お疲れさまでした。

午後2時10分 閉会

○

宮古市議会議長 古 舘 章 秀